

キャラクター名
剣崎 勝馬 (けんざき・かずま)

プレイヤー名

シンドローム	モルフェウス ウロボロス		ワークス	UGNチルドレンA	カヴァー	UGNチルドレン
	オプション		年齢	12歳	性別	男性
覚醒	犠牲	衝動	破壊	初期侵食率	41 %	
出自	安定した家庭	経験	大事故	邂逅	師匠	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	28
肉体	2	1	0			3	行動値	8
感覚	3	0	0			3	(非装備時)	8
精神	2	0	0			2	戦闘移動	13
社会	1	0	0			1	全力移動	26

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	11		射撃			RC	1		交渉		
回避	1		知覚			意志			調達		
運転：二輪車	2		芸術：ダンス	4		知識：レネゲイド	2		情報：UGN	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
グレイブアブソーバー	白兵	3r+11	3	7+Lv		《インフィニティウエポン》作成

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
グレイブアーマー		5+Lv*2			《アーマークリエイト》作成

所持品	
コネ：UGN幹部	
コネ：警察官	
ダインスレイブプログラム	
グローイングクリスタル	

合計装甲： NaN 合計回避： 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
Dロイス：賢者の石	P 遺志	N 恐怖		
あの日の少女	P 遺志	N 悔悟		
Sロイス：住良木暁音	P 信頼	N 不安		
	P	N		
	P 好奇心	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 2 残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果： 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果： コスト分のHPで復活								
コンソレイト：モルフェウス	3	2	Xジャー					
効果： C値-Lv（下限値7）								
咎人の剣	3	4	Xジャー			対決	リミット	
効果： 前提：《インフィニティウエポン》 作成武器使用攻撃力+[Lv*5]								
巨匠の記憶	1	2	Xジャー					
効果： <運転> <芸術> <知識> <情報> ゲイス+Lv								
原初の灰：万軍撃破	1	7	Xジャー	視界	選択	対決	120%	
効果： 対象・射程変更 シリ1回								
アーマークリエイト	1	2	マイナー	至近	自身	自動		
効果： 装甲値[5+Lv*2]防具作成								
インフィニティウエポン	5	3	マイナー	至近	自身	自動		
効果： 攻撃力：[Lv+7]・G値3白兵武器作成								
原初の青：斥力跳躍	1	2	マイナー	至近	自身	自動		
効果： 戦闘移動、移動距離+[Lv*2]m								
レストインコマンド	1	4	マイナー	至近	自身	自動		
効果： 暴走含むBS3つ回復 シリ1回								
サポートデバイス	4	6	セットアップ	至近	自身	自動	80%	
効果： R間指定能力値ゲイス+[Lv*2] シリ3回								
砂の境界	1	2	オート	至近	自身	自動		
効果： ガーリック行使								
砂の祝福	1	4	オート	至近	自身	自動		
効果： 《砂の境界》射程[Lv*10]mに シリ1回								
原初の白：オーバーロード	1	5	オート	至近	自身	自動	80%	
効果： 対象武器攻撃力二倍、MIN終了時選択武器破壊								
原初の黒：リミットリリース	1	8	オート	至近	自身	自動	100%	
効果： 判定直前使用、C値-1（下限値5） シリ1回								

【詳細】
自身の正義を信じ、それを一貫する性格。しかしあまりにその気持ちが強い為、少々突っ走り過ぎるところがある。
 師匠である橋住久弥からは「そこが未熟である」とよく諭されている。
 一人称は「僕」。中性的な顔立ちで俗に言う美男子。しかし自覚はない。

支部のチルドレン、中でも先鋭的エースとして活躍していた勝馬は、とあるFH絡みの重要事件を担当することとなる。それはUGNで保護していた“賢者の石”の適合者（レセプター）が、FHに誘拐され被験体として実験施設に隔離されているとのことであった。その適合者の少女は、勝馬がとある組織の実験施設から助けたということもあり、担当として任された背景があった。しかしその少女は適合者として未熟で、仮に賢者の石と適合した場合はジャームとなり、レネゲイドが自滅を始めるであろうという検査結果が出ていた。数馬はそのことを知り、より一層と早急に少女の行方を捜し、そしてついにとあるFH研究チーム“ツータイム”の施設を突き止めた。数馬は一騎武勇の活躍を見せ、施設の奥まで到達する。そしてその場所で少女の姿と、今にも適合を始めている賢者の石を発見した。数馬は迷わなかった。勝馬は適合し始めていた賢者の石を強奪し、寸手ところで少女の命を救うことに成功した。しかし偶然は残酷である。勝馬もまた、類まれなる賢者の石の適合資質があり、同時にその賢者の石と勝馬の体質に“グローイングクリスタル”の資質も持っていたのだ。まるでそれが身体の一部であったかのように、数馬の強奪した賢者の石は数馬の身体に瞬時に適応してゆき、拒む暇もなく数馬の身体に融合する。襲いかかる未知なるレネゲイドの奔流は、たとえ適合者であっても負担が大きい。数馬はその場に膝をつき、苦しみ始める。そのタイミングが酷であった。直後に援軍のFHの精鋭である“マスターレイス”が到着し、数馬の命を狙った。「だめっ！」
 マスターレイスの荒々しい一撃を受け止めたのは、他でもない少女であった。数馬の身を身を徹し守ったのだ。

